

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 令和3年度(2021年度)事業報告

(敬称略)

定款第5条各項により

第一項 ピアノを中心とする音楽および音楽教育に関する講習会、研修会、演奏会等の開催

■ピティナ・ピアノ指導セミナーVol.54（指導者育成委員会）

令和3年度（2021年度）は4月17日（土）・18日（日）に、オンラインセミナーとして開催。10枠11名の講師が自宅および東音ホールから出演。各地をZoomで繋ぎ、交流した。

日程：令和3年（2021年）4月17日（土）・18日（日）

会場：オンライン（Zoom）

講師：鈴木弘尚、樋口紀美子、金子勝子、佐々木邦雄、佐々木恵子、今野万実、角野美智子、西尾洋、根津栄子、石井なをみ、赤松林太郎（敬称略・出演順）

■レッスン見学（指導者育成委員会）

令和3年度（2021年度）は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施を見送り。

■ピティナ・ピアノセミナー（本部事務局）

令和3年度（2021年度）は、605箇所で開催（その他、新型コロナウイルス感染拡大の影響で32件見送り）。

■ピティナ・eラーニング（本部事務局）

令和3年度（2021年度）は、ピアノ指導に関するコンテンツを229件公開。年度末時点の登録者は4,099名。

■研究発表ピティナコンサートシリーズ（コンクール運営委員会）

○2021年度第45回ピティナ・ピアノコンペティション ソロ・デュオ部門入賞者記念コンサート

日程：令和4年（2022年）3月20日（日）

会場：第一生命ホール

出演者：第45回ピティナ・ピアノコンペティション A1級～特級、連弾初級A～連弾上級 入賞者33組

※3年ぶりに席数の制限なしでの販売。また、YouTubeでのライブ配信を実施した。

○2021年度第45回ピティナ・ピアノコンペティション グランミュージズ部門入賞者記念コンサート

日程：令和4年（2022年）2月26日（土）

会場：Hakuju Hall

出演者：第45回ピティナ・ピアノコンペティション グランミュージズ部門 入賞者16組

○グランミュージズ・サロン

令和3年度（2021年度）は10月23日（土）に1件実施。

主催者：相澤聖子

会場：紀尾井町サロンホール

■研修交流会アンサンブルパーク（アンサンブル・国際交流委員会）

オンライン（Zoomミーティング方式）にて開催。参加者は56名。

日程：令和4年（2022年）2月24日（木）10:00～12:30

出演者：江本純子、谷口賢記、吉澤実佐子、岡陽子、森華燿子、ほか（うち、3名は公募枠での出演）

■トークコンサート（ステップ運営委員会）

令和3年度（2021年度）は12月より実施再開し、4か月間で30地区開催。

■プレアドバイザー研修会（アドバイザー派遣委員会）

令和3年度（2021年度）は8回実施し45名が受講した。その成果により、2021年度中に40名が正アドバイザーとして承認された（※）。※2021年2月から2022年1月までにプレアドバイザー研修を終えた方が対象

第二項 ピアノを中心とする音楽指導者および学習者等の技能の審査、コンクール等の実施

■第44回ピティナ・ピアノコンペティション（コンクール運営委員会）

予選・本選：

新型コロナウイルスの影響により、2020年に中止していたソロ部門A2～Jr.G級、デュオ部門及びグランミューズ部門も含め、全部門で開催。予選参加組数は26,779組（感染拡大前の2019年度との比較で84.8%）となった。

準本選：

新たに「準本選」を実施。予選を通過できなかった方および事情により本選に参加できなかった方を対象に、四期認定を目的とした動画コンクールを開催。5月に告知をし、353組が参加した。

課題曲チャレンジ

2020年度にコンペティションの代替企画（動画提出型）として始まったものを2021年度も継続実施。ソロ部門1,264名、デュオ部門134組の参加があった。

・ピティナ・ピアノコンペティションへの審査員派遣（審査員選考委員会）

令和3年度（2021年度）は、325地区のピティナ・ピアノコンペティションへ690名、延べ1,895人の審査員を派遣した。当該年度に初めて審査を行ったのは49名。また、前年に続き実施した課題曲チャレンジの採点に94名、延べ111名に協力いただいた。2021年度から開始した準本選は、25名の審査員に協力いただいた。

■ピティナ・ピアノ演奏検定（コンクール運営委員会）

令和3年度（2021年度）は9地区で84組が受検。

■ピティナ・ピアノステップ（ステップ運営委員会）

令和3年度（2021年度）は500地区が開催され、36,386組が参加した。前年比20,577組増となり、活気が戻りつつある。

・ピティナ・ピアノステップへのアドバイザー派遣（アドバイザー派遣委員会）

令和3年度（2021年度）は、ステップへ672名、延べ1,439人のアドバイザーを派遣した。当該年度に初めて正アドバイザーとしてアドバイスを行ったのは51名。

■ピティナ・ピアノ指導者ライセンス（指導者育成委員会）

令和3年度（2021年度）は、延べ53地区で指導実技審査・演奏実技審査・レポート審査を実施。うち8地区はオンラインでの開催。受検者は延べ819名（※）。※過去最高となった2020年度より約50名ほど多い。

■全国一斉課題曲筆記試験（指導者育成委員会）

令和3年度（2021年度）は、延べ19地区で開催。うち4地区はオンラインでの開催。春期はコンペティション課題曲、秋期は提携コンクール課題曲を題材とした筆記試験（指導者ライセンス筆記試験、ingプログラムWriting）を実施。受検者は延べ229名。

■提携コンクール（理事会）

外部団体主催のコンクールにウェブ申込システムの提供とステージポイントの共有を行った。令和3年度（2021年度）は41種類・245地区のコンクールと提携。申込数は延べ23,355件。

第三項 音楽および音楽教育に関する調査研究、情報公開

■機関誌「Our Music」357号より計6回発行（理事会）

356号を「令和3年度（2021年度）ピティナ・ピアノコンペティション参加要項」として刊行。

■新曲作品募集とその選考（本部事務局）

譜面審査：

令和3年（2021年）11月30日（火）

令和4年（2022年）1月31日（月）

令和4年（2022年）1月25日（火）

応募79曲から8曲をコンペティション課題曲候補として検討。

■ピティナのウェブサイト上で「ピアノ曲事典」の掲載・更新（メディア委員会）

ピティナ・ピアノ曲事典（ウェブサイト）の構築。令和4年（2022年）3月末時点で、約2,500人の作曲家情報と7万7千曲の作品情報を公開中。

■公開録音コンサート（メディア委員会）

令和3年度（2021年度）は感染症拡大前の約半分、計10回のコンサートを実施するまでに回復（通算開催数：268回）。

■音楽総合力UPワークショップ（メディア委員会）

「音楽家としての自立」をテーマとした10組の講師による連続講座（通算11回目）。講師はフィギュアスケートの町田樹氏や作曲家の北爪道夫氏などを招いた。

■オンデマンド楽譜印刷・製本サービス「ミュッセ」（本部事務局、課題曲選定委員会）

商品を自由な組み合わせ・曲順で楽譜集にまとめられるオンデマンドの楽譜印刷・製本サービス。販売中の作品数は8,666点（2022年5月19日時点）。個人出品物の販売に加えて、ピティナ事業に関わる作品の販売として、コンペ課題曲やアナリーゼ楽譜の単品販売のほか、編曲オーディションの受賞作品を褒賞として販売。

■ショパンコンクールレポート

ポーランド・ワルシャワで行われた第18回ショパン国際ピアノコンクール予備予選及び本大会をウェブサイトでレポート。発信媒体「note」に254記事を公開し、PV数は約410万となった。関連して、YouTubeピティナ広報チャンネルで出演者インタビューを公開し、約260万回再生。特級Twitterではフォロワーが7,700名増加し、約2,000万インプレッションを獲得した。

第四項 ピアノを中心とする音楽教育に関する国際交流事業の実施

■世界の諸地域との交流・情報交換

○イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、オーストリア、ロシア、ポーランド、トルコ、アイルランド、フィンランド、中国、香港、韓国、タイ、フィリピン、モンゴル、インドネシア、シンガポール、アメリカ、カナダ、MTNA（The Music Teachers' National Association of U.S.A.）、EPTA（European Piano Teachers Association）、FACP（Federation for Asian Cultural Promotion）等との情報交換。

○浜松国際ピアノコンクール事務局・仙台国際音楽コンクール事務局（日本）、リスト国際コンクール事務局（オランダ）、エリザベート王妃国際音楽コンクール（ベルギー）、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール事務局・クリーブランド国際ピアノコンクール事務局・ジーナ・バックアウワー国際コンクール事務局（アメリカ）、アーリンク・アルゲリッチ財団等との情報交換。

○来日アーティスト

令和3年度（2021年度）は、2020年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、コンペティション審査員やその他の音楽家の海外招聘を見送り、ピティナ・ピアノコンペティション全国大会G級・Pre特級・特級は日本在住審査員のみで審査した（特級は11名での審査）。過去の海外招聘教授・音楽家とは、メール等を使い、安否確認や情報交換を行った。

第五項 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

■ピティナ・学校クラスコンサート（理事会）

令和3年（2021年）度は22校で開催。

内訳（出資元別）：支部・ステーション5校、自治体・教育委員会4校、文化庁派遣事業12校、学校主催1校

■ピティナ・ピアノ教室紹介（理事会）

11,814件（2022年3月末日時点）

■ピティナ伴奏者紹介（理事会）

52件（2022年3月末日時点）

■ピティナ調律師紹介（理事会）

54件（2022年3月末日時点）

■「キャリア支援室」（理事会）

・令和3年（2021年）7月26日（月）20:00-21:30、オンラインイベント「音大生のためのキャリアセミナー」開催（講師：大内孝夫）。

・ピティナ会員向けの経営相談（30分間無料相談）を開始し、約40人が参加した。

■寄付金（理事会）

下記の事業およびプロジェクト、または関係団体への寄付として合計8,187,724円／845件の寄付を集めた（2022年3月31日時点）。寄付方法は、ピティナ・ウェブサイトからの申込（クレジットカード等）、指導者賞賞金による寄付など。

○ピティナのプロジェクト

ー各事業への寄付：ピアノ教室紹介、ピアノ曲時点を中心に、ピティナの全事業が対象

ー新規プロジェクト：2021年特級クラウドファンディング

○関連団体 公益財団法人福田靖子賞基金

■教育立国推進協議会で第二分科会の書記

超党派の国会議員（約200名）と民間団体の幹部メンバーで構成される教育立国推進協議会に、福田成康専務理事が民間側の有識者の一人として参加。「地域格差、家庭格差、障害格差をなくし、教育を多様化する」をテーマとする第2分科会にて、家庭格差に関する書記を担当。教育の現場を学校だけでなく民間に広げていく仕組みづくりの提言を目指している。

■当協会の目的達成に協力する団体等との連絡提携

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ○公益財団法人 福田靖子賞基金 | ○公益社団法人 日本演奏連盟 |
| ○一般社団法人 日本ピアノ調律師協会 | ○公益社団法人 日本オーケストラ連盟 |
| ○一般社団法人 日本楽譜出版協会 | ○一般社団法人 日本作曲家協議会 |
| ○公益財団法人 東京二期会 | ○公益財団法人 音楽文化創造 |
| ○一般社団法人 日本弦楽指導者協会 | ○一般社団法人 日本クラシック音楽事業協会 |
| ○公益財団法人 音楽鑑賞教育振興会 | ○仙台国際音楽コンクール |
| ○一般社団法人 FACP日本 | ○アーリンク・アルゲリッチ財団 |
| ○音楽教育を守る会 | ○日本民間教育協議会 |
| ○デジタルアーカイブ学会 | ○日本音楽学会 |
| ○日本音楽芸術マネジメント学会 | ○日本音楽教育学会 |
| ○教育立国推進協議会 | ○全国の市町村及び市町村教育委員会 |
| ○全国の音楽学校、音楽大学 | ○当協会団体会員（60団体） |

以上の団体との情報交換。